

Tachikoku Times

No.0026 7月号

東京都立立川国際中等教育学校
<http://www.tachikawachuto-e.metro.tokyo.jp>

Monday July 20, 2020

時差登校で 全員登校へ!

都立学校の「全員登校」が6月29日(月)から始まり、本校でも、学年・クラスの全員が登校できるようになりました。分り散登校が約4週間続き、1か月ぶりに各教室で全員の顔が揃い、生徒の皆さんは「やっと揃った…」という思いと一緒に嬉しそうな表情を見せていました。全員登校にはなりましたが、公共交通機関の混雑を避けて登下校するために、通常よりも約1時間遅い時差登校が行われています。また、教育活動が再開した6月上旬から取り組んでいる「消毒」「健康観察」は引き続き行われています。各教科・科目の授業もほぼ通常の形態に戻り、英語や数学の授業では、「少人数」「習熟度別」の展開の授業も再開となりました。「やはり教室で授業がある方がいいな。」と臨時休校中の自宅学習を思い出している生徒もいることなのでしょう。前期課程の給食もクラス全員で食べるようになりました。グループで向かい合っ



て食事を取ることはできませんが、クラス全員が揃っていることでも明らかです。



部活動紹介

5月29日(金)に入学ガイダンスがあり、立川国際の仲間となった1年生。「中学生になったら…」と思い描いていた部活動の参加も臨時休校等で約3か月ほど遅くなってしまいました。7月1日(水)に、「部活動紹介」が行われました。生徒会長の挨拶の後、各部活動の先輩が活動の内容について熱心に説明をしていました。試合に使用しているユニフォームを着用して説明をしたり、活動の中で作成した物をみせたり、各部活動が工夫を凝らした紹介をしていました。「入学前からこの部活動に入ろうと思っていたんだ。」「たくさんの部活動があって、どの部活動も面白そう…。」1年生はどのように思ったのでしょうか。部活動紹介後、1年生の仮入部も始まり、先輩に教わりながら、活動している1年生の姿が校内のあちらこちらで見ることができます。



放課後の部活動も動き始めました

6月22日(月)から保護者の方の承諾を得ながら、放課後の部活動が再開されました。翌週からの活動に備えて、準備をしている部活動や、1時間弱の短い時間ながらも、真剣に練習に取り組んでいる部活動がありました。約3か月振りの活動に、嬉しさいっば

いの反面、「身体が動くかな」と心配な表情をしながら練習していた生徒もいました。7月からは休日の活動も始まり、少しずつ臨時休校前の日常を取り戻してきています。7月中旬から始まる3日間の期末考査が終わったら、もうすぐやってくる夏に向けて本格的な活動になっていくことなのでしょう。各部活動で新たな目標を設定し、個人・チーム・仲間ですらに成長していくことができるように取り組んでいきます。

